

公益財団法人 三原村農業公社

組織形態：市町村農業公社

取組範囲：三原村全域

法人設立：平成 11 年 1 月 4 日

所在地：幡多郡三原村宮ノ川 1271-152

資本金等：1,000 万円（三原村 1,000 万円）

役員：理事 6 名（常勤 1 名）、監事 2 名

従業員：正職員 5 名、臨時雇用 11 名、パート 5 名

（現場作業 12 名、選果・加工 6 名、販売 1 名、事務 2 名）

事業内容

- ・農作業受託：水稻播種 2.3 万枚、ブロッコリー定植等 2ha
- ・農業生産：ユズ 34.4ha
- ・加工品の製造販売：ゆず胡椒等
- ・新規就農研修：ユズ、ブロッコリー



三原村のユズ

資本装備（主に村所有施設を利用）

- ・施設等：三原村ユズ選果・搾汁工場、播種センター他
- ・機械等：黄玉ユズ自動選果機、青玉ユズ皮剥ぎ機、蒸気コンテナ洗浄機、真空包装機他

活用した主な補助金等

- ・国事業：農山漁村振興交付金、中山間地域所得向上支援事業
- ・県事業：産業振興推進総合支援事業、複合経営拠点支援事業

設立の経緯

三原村は水稲中心の営農が行われてきたが、農家の所得低迷・高齢化・後継者不足等が深刻な問題となっていた。当初は受託作業と新規就農者の育成に力を入れ、農家所得の向上と農業人口の増加を目指して設立された。

平成 22 年度からはユズの産地づくりに力を入れ、機械化による作業効率の改善と後継者が就農しやすい農業環境の整備に取り組んでいる。

事業戦略

組織の体制強化を図るとともに、ユズの生産、加工、営業の強化に取り組み、生産量と売上を向上させ、経営の黒字化を目指す。



ユズ収穫作業

取り組みの特徴

ユズの新植、新規就農者へのユズ園地ののれん分け、村からの指定管理でユズ選果・搾汁施設の運営など、村のユズ生産目標 350 トンに向けた中心的な役割を公社が担い、ユズの産地化とともに、雇用の創出、集落活動センターやまびこと連携した地域活性化などにも取り組んでいる。

令和 5 年 6 月現在